

百里基地見学で装備品に接近



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は5月14日、高校生及び大学生等15名を航空自衛隊百里基地見学案内した。

当日は雨天のため、C-147Jによる体験搭乗は中止となったものの、装備品展示や広報資料館見学等を通じ、航空自衛隊への理解を深めていた。

装備品はF-2戦闘機や基地防空用地対空誘導弾、救難消防車等が格納庫に展示されており、近寄って見学したり、勤務員に質問する参加者の姿が見られた。「体験搭乗がなくなって残念でしたね」という問いにも「この場所に来られただけで貴重な機会があったにない」「自衛官を志望しているが現場の自衛官と直接話ができ、さらに受験したいという気持ちが強まった」等の声が聞かれた。

広報資料館ではF-4戦闘機の模擬コックピットに代わるがわる座り、計器類についての勤務員の説明に熱心に耳を傾ける様子が見られた。また、航空救難隊の落下傘装着体験コーナーでは「こんな重いものを背負っているのか」と自衛官の強靱な体力に驚く場面もあった。

栃木地本は「今後も駐屯地や基地見学を通じ、自衛隊を身近に感じてもらえるよう活動していく」としている。

は、
力をかけないでください。
スイッチ類には、
触れないでください。
ハンドル類（黄色と黒）には、
手を触れないでください。